

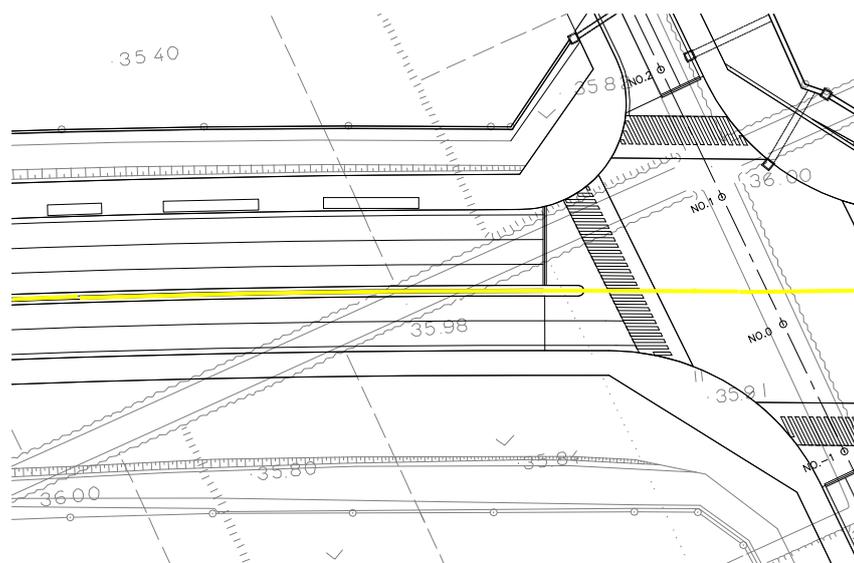
卷末資料

1. 完成平面図における地物作成仕様

1) 道路中心線

1. 地物定義 道路の設計段階等で用いられる中心線。
2. レイヤ名 C-BMK
3. 形状 線
4. 色 黄
5. 作図方法 道路の設計段階等で用いられる中心線の位置を線で取得する。既に管理段階におかれ、設計段階の中心線位置が不明である場合は、現存する道路の中央帯の中心、一方向道路または往復分離されていない道路においては車道部の中心を表す線を線データとして作成する。前後区間の道路代表線と連続性を確保するよう留意する。

《作図例》



6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

2) 距離標

1. 地物定義 道路管理者が道路の管理を行うにあたり、道路の付属物として路面上に一定間隔(1km または 0.1km 毎)で設置し、 起点からの距離を把握するために用いる標識。
2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-KMPOST
3. 形状 点(マーカコードは 5:square)
4. 色 緑
5. 作成方法 設置中心位置を点データとして作成する。

《接頭文字について》

属性項目のうち「接頭文字」とは、「地点標設置指針・同解説(案)の送付について」(平成5年7月5日国道第一課交通安全事業係長事務連絡)によって規定された、距離程を識別するために付す文字を指す。バイパス等の整備により延長が長くなって補番が必要となる場合や、現道に対しバイパスの距離標を区分する場合などに距離標に記されるもので、前者の場合は「B」、後者の場合は「BP」と記す。

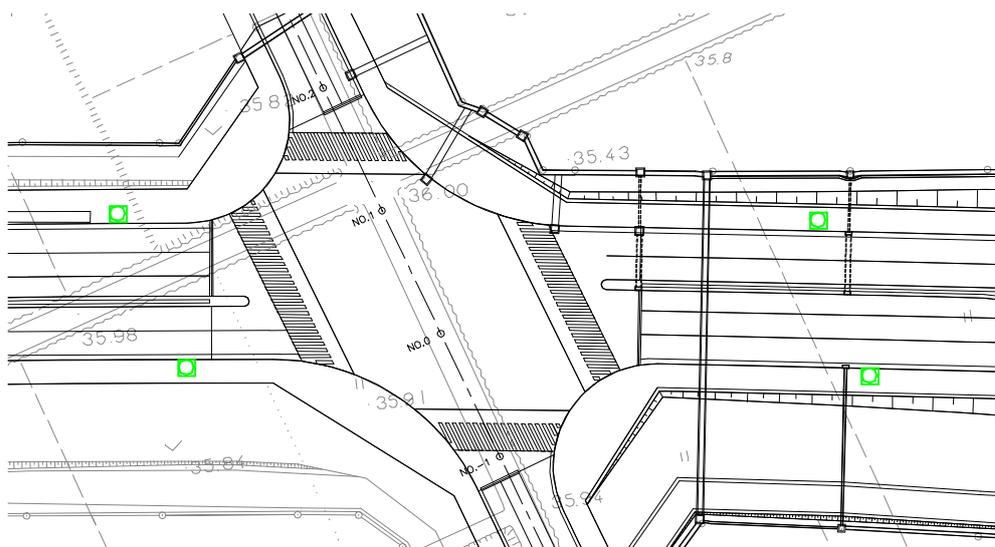
属性入力にあたっては、取得対象となる距離標にBまたはBPの記載がない場合は"1"、Bと記載されている場合は"2"、BPと記載されている場合は"3"として入力する。

《測点で代用する場合の属性入力について》

距離標を測点で代用する際には、下記の通りに属性入力を行う。

- ・「接頭文字」は、"1"を入力。(「なし」を選択)
- ・「距離程」は、測点に読み替えて追加距離を入力。(この場合、桁数は小数点以下2桁、単位 [km])
- ・「種別」は、"3"を入力。
- ・「経度」「緯度」は設計時に用いた座標値を変換した値を入力。
- ・「高さ」は設計時に用いた計画路面高を入力。

《作図例》



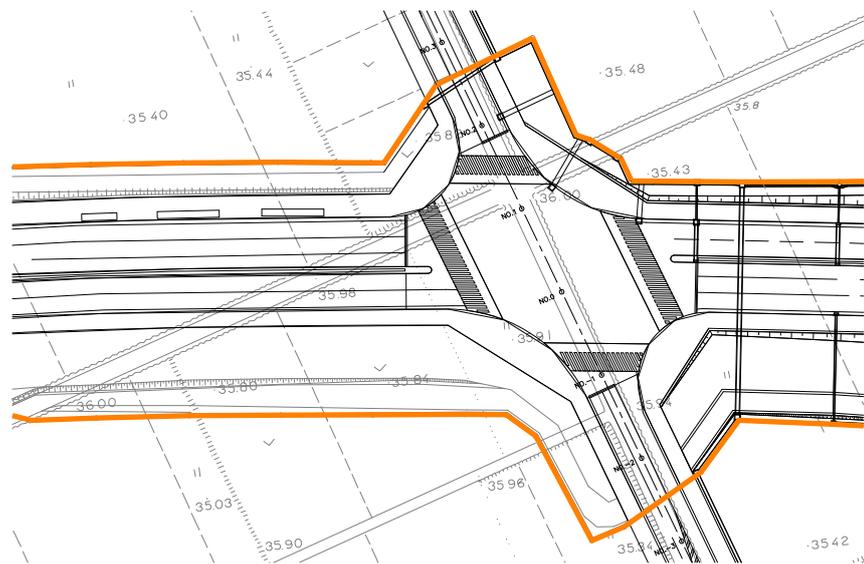
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31
路線番号	距離標が設置されている路線の番号を記入する。	246
現旧区分	距離標が設置されている路線の現道, 旧道, 新道の区分を定義域より選択する。 【定義域】1=現道, 2=旧道, 3=新道	1
上下区分	距離標の用途の区分を定義域より選択する。 【定義域】0=上下線共通, 1=上り線, 2=下り線,	2
接頭文字	新道設置において用いる、距離標を識別するための接頭文字を定義域より選択する。 【定義域】1=なし, 2=B, 3=BP 《測点で代用する場合》 “1”と入力する。	3
距離程	起点からの距離程数値を実数値で記入する。 (小数点以下1桁、単位「km」) 《測点で代用する場合》 追加距離を記入する。(小数点以下2桁、単位「km」)	195.3
種別	距離標の種別を定義域より選択する。 【定義域】1=0.1kp, 2=1kp, 3=測点	1
経度	距離標の設置中心位置の経度を記入する。 小数点形式(DDD° . MM' SS" SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 《測点で代用する場合》 設計時に用いた座標値を変換した値を記入する。	140.09147463
緯度	距離標の設置中心位置の緯度を記入する。 小数点形式(DD° . MM' SS" SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 《測点で代用する場合》 設計時に用いた座標値を変換した値を記入する。	36.02416679
高さ	距離標の路面上の設置中心位置の高さ(T.P)を記入する。 現地計測しない(緯度・経度のみを持ち、高さのわからない)距離標の場合、“9999.999”として記入する。 (小数点以下3桁、単位「m」) 《測点で代用する場合》 設計時に用いた計画路面高を記入する。	37.150

3) 管理区域界

1. 地物定義 行政上の管理域の境界であり、他の土地または他管理者が管理する道路との境界。
2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-BOUNDARY
3. 形状 線
4. 色 橙
5. 作図方法 道路管理者が管理対象とする範囲の境界である「管理境界」を線データとして作成する。管理境界標の位置が明確である場合、それらをつなぐ線として線データを作成する。

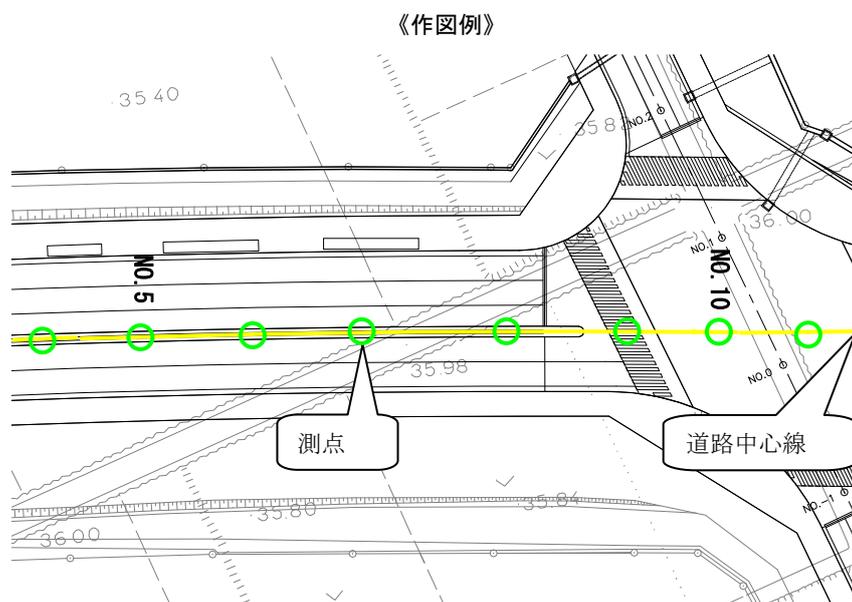
《作図例》



6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

4) 測点

1. 地物定義 道路の設計段階等で用いられる道路中心線上の点。
2. レイヤ名 C-BMK-BMKZ-STATION
3. 形状 点(マーカコードは 2:circle)
4. 色 緑
5. 作成方法 道路中心線上に点データとして作成する。



6. 属性項目

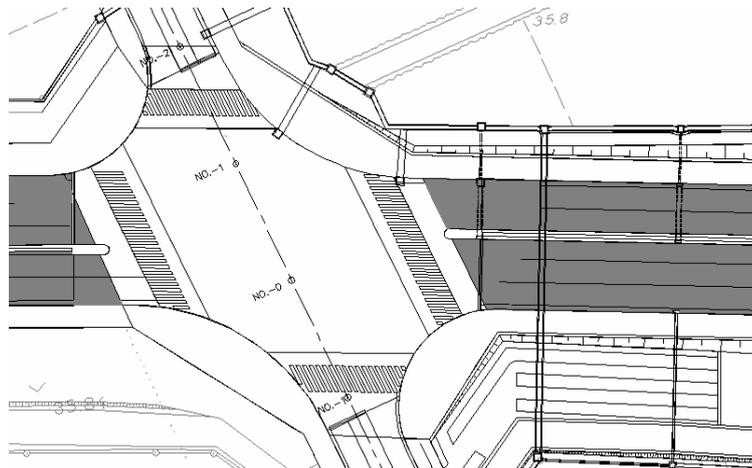
【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31
測点番号	測点毎に付与される番号。完成平面図、完成縦断図に記載された測点番号の値を入力する。	10+00.000
追加距離	工事起点からの水平距離。完成縦断図に記載された追加距離を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	200.000
高さ	計画高位置における路面高さ(T.P.)。完成縦断図に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下3桁、単位「m」)	45.406
横断勾配(左)	工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	2.07
横断勾配(右)	工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。(小数点以下2桁、単位「%」)	-1.75

5) 車道部

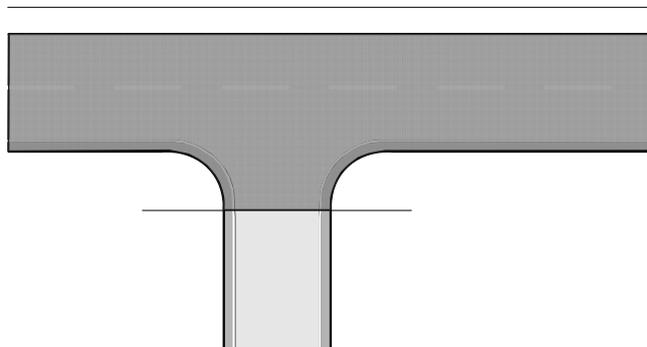
1. 地物定義 主として自動車を利用する道路の部分で、車線、すりつけ区間、分離帯が切断された車道の部分、側帯、路肩、停車帯、待避所、乗合自動車停車所、非常駐車帯、副道を含む。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-ROADWAY
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 路肩端、分離帯端、すみ切りの頂点を結ぶ線分によって囲まれる範囲を面データとして作成する。ただし、車道交差部、踏切道、軌道敷の部分を除く。

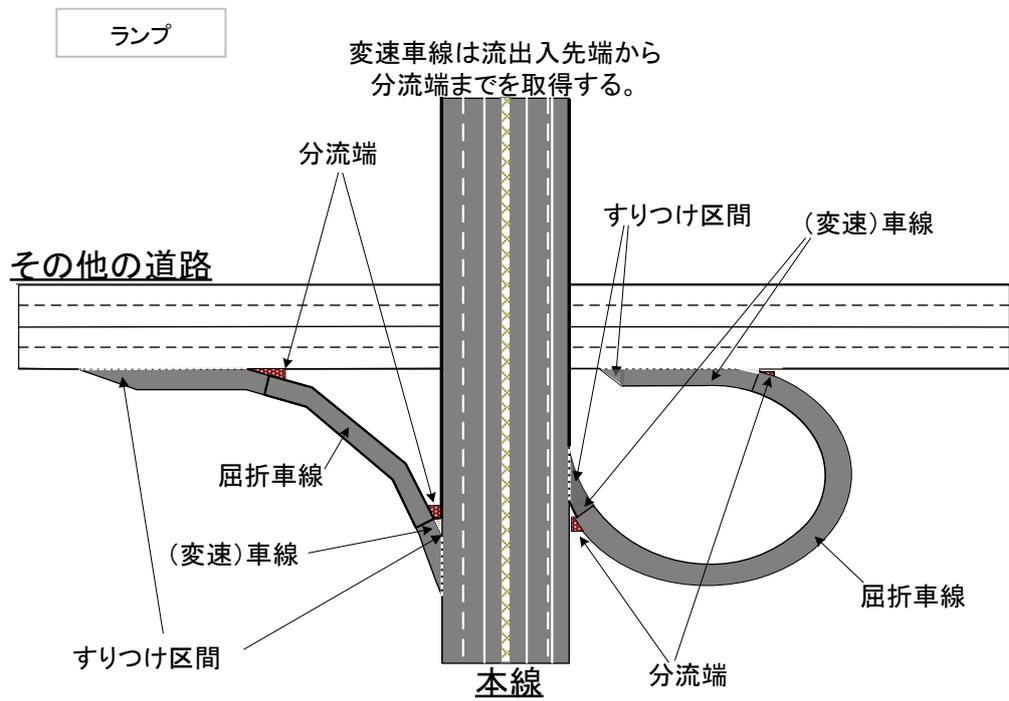
《作図例》

交差点



T字路





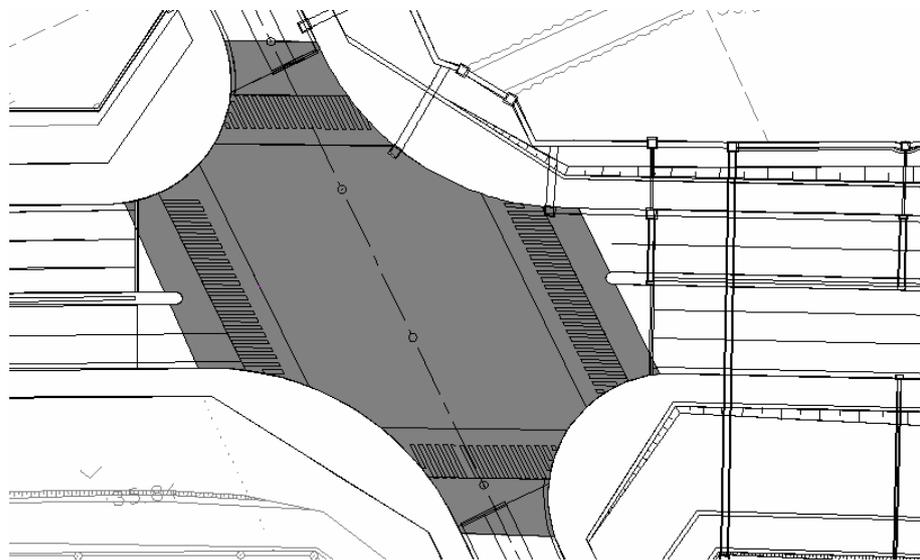
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C050 舗装	○		
	C110 環境施設帯	○		

6) 車道交差部

1. 地物定義 十字路、丁字路その他2つ以上の車道が交わる部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CROSSING
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 すみ切りの頂点を結ぶ線分、路肩端、分離帯端を境界線として取得し、それによって囲まれた範囲のうち、他の道路と交差する範囲を面データとして作成する。

《作図例》



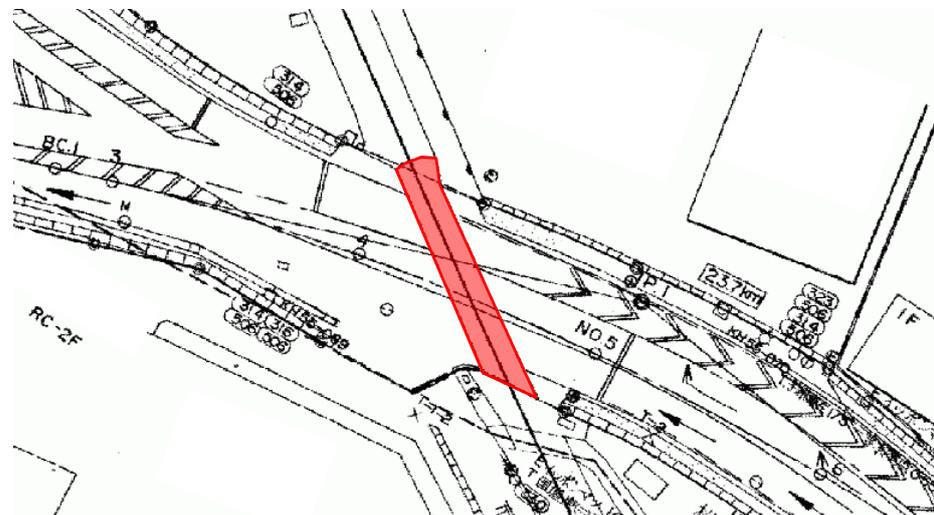
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C060	道路交差点	○	○	○

7) 踏切道

1. 地物定義 鉄道と交差する道路の部分で、道路と鉄道敷地の境界線によって構成される部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-RAILROADCROSS
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 道路と鉄道敷地の境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



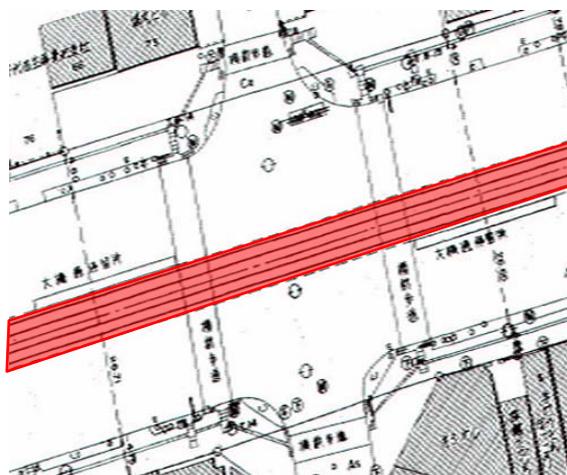
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C070	鉄道交差点	○		○

8) 軌道敷

1. 地物定義 路面電車が走行する道路の部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TRAMAREA
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 軌道敷の境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



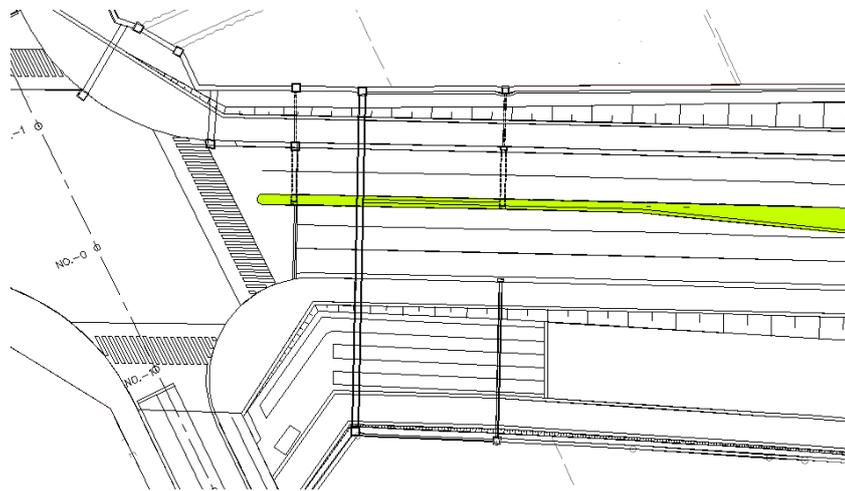
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

9) 島

1. 地物定義 車両の走行を制御し、安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島の部分。
ただし、路面電車停留所の部分は除く。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-ISLAND
3. 形状 面
4. 色 黄緑
5. 作図方法 道路の中で、工作物(マウントアップ、縁石等)で明確に分離されている部分のうち、歩道部、植栽、路面電車停留所以外の部分の外周を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



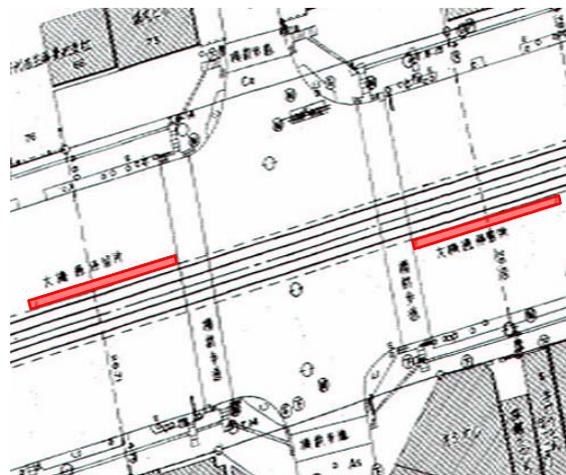
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C100	中央帯	○		
C110	環境施設帯	○		

10) 路面電車停留所

1. 地物定義 路面電車の乗降、待合のための停留場として利用される島状の道路の部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TRAMSTOP
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 安全島のうち、路面電車停留所として利用されているものの外周を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

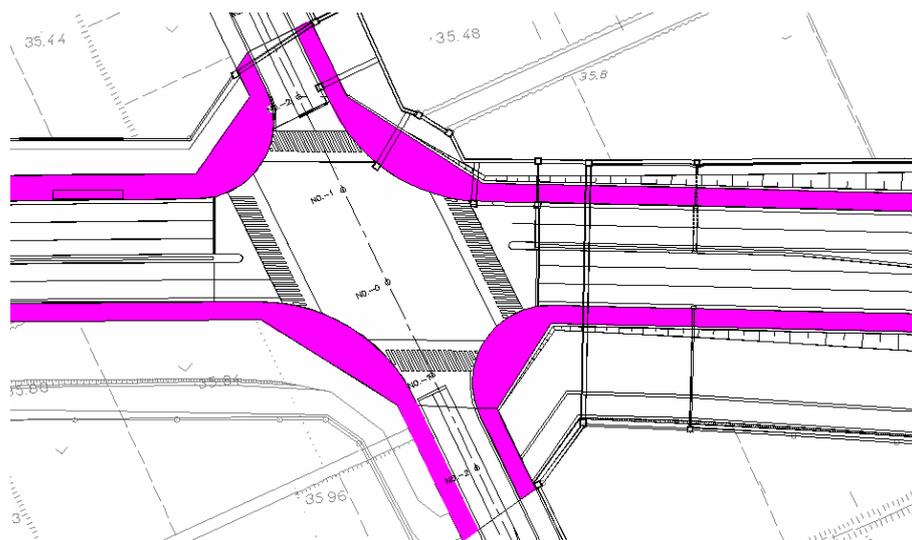


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

11) 歩道部

1. 地物定義 専ら歩行者と自転車の通行に供するため、工作物によって車道部と区画して設けられる道路の部分で、自転車道、自転車歩行者道、歩道を含む。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SIDEWALK
3. 形状 面
4. 色 桃
5. 作図方法 以下に示す範囲を面データとして作成する。
 - ① 縁石の車道側の境界線と歩道部端によって構成される範囲(歩道部が車道面よりも高いマウントアップ型)
 - ② 縁石や柵・壁の歩道部側の境界線(ただし下端線)と歩道部端によって構成される範囲(歩道部面と車道面を同一の高さとしたフラット型)
 - ③ 構造上、歩行者と自転車の通行に供する部分

《作図例》



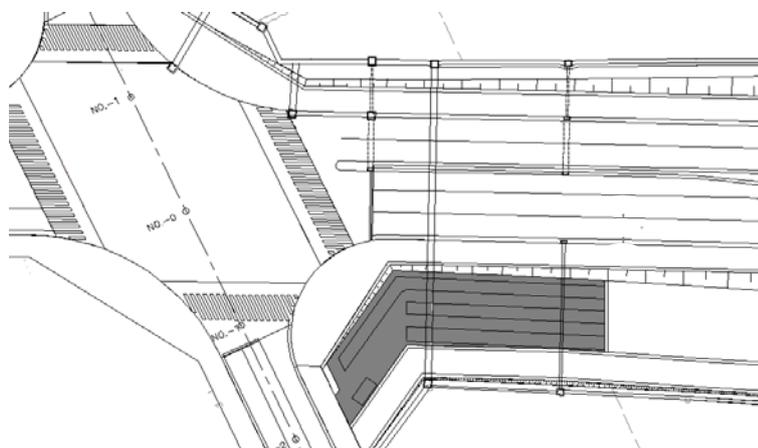
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C050 舗装	○		
	C080 歩道及び自転車歩行者道	○		
	C090 独立専用自歩道	○		
	C110 環境施設帯	○		

12) 自転車駐車場

1. 地物定義 道路に接する自転車駐車場で、道路管理者が設置し管理するもの。
自転車駐車場の駐車区画・通路の部分により構成される。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BICYCLEPARK
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 自転車駐車場を構成する駐車区画・通路の外周と、出入口を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

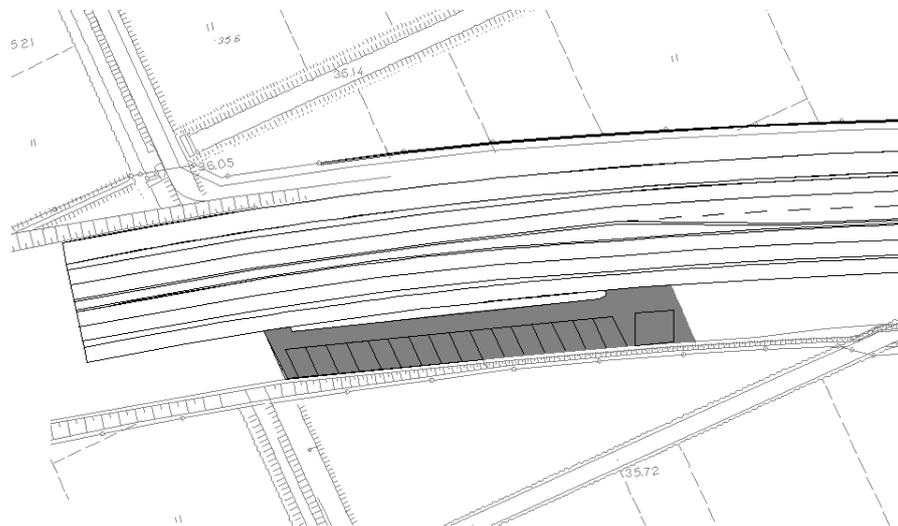


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	E140	自転車駐車場	○	○

13) 自動車駐車場

1. 地物定義 自動車駐車場で、道路に接して道路管理者が設置し管理するもの。
自動車駐車場の駐車区画・車路の部分を含む。(進入接続路は含まない。)
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CARPARK
3. 形状 面
4. 色 暗灰
5. 作図方法 自動車駐車場を構成する駐車区画・車路の外周と、駐車場への進入接続路との境界線(出入口)を境界線として取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》

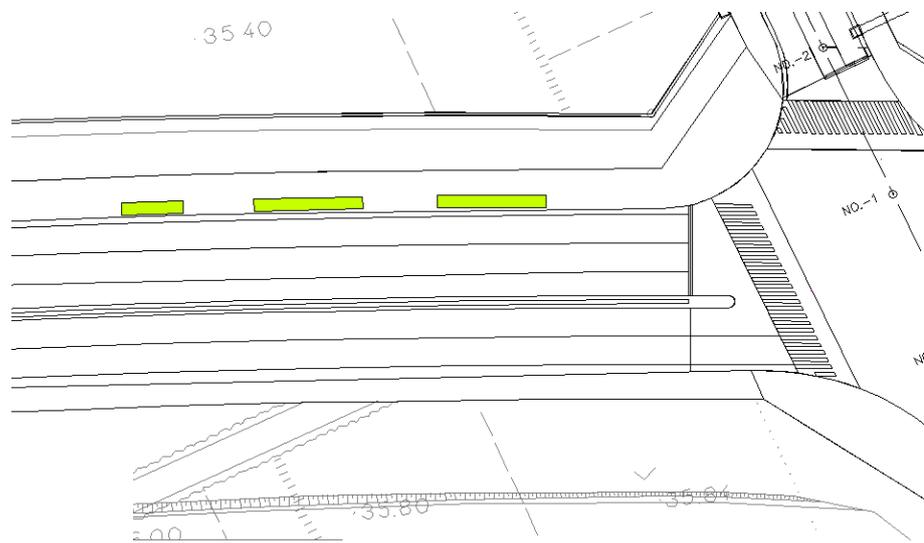


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	E130	自動車駐車場	○	○

14) 植栽

1. 地物定義 樹木を植栽するために工作物によって区画して設けられる道路の部分のうち、歩道部に設置される植樹帯、及び歩道内に街路樹(並木)を植栽するための柵の部分(島に設置される植樹は含まない)。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PLANT
3. 形状 面
4. 色 黄緑
5. 作図方法 植栽の外周となる境界線を取得し、それによって構成される範囲を面データとして作成する。

《作図例》



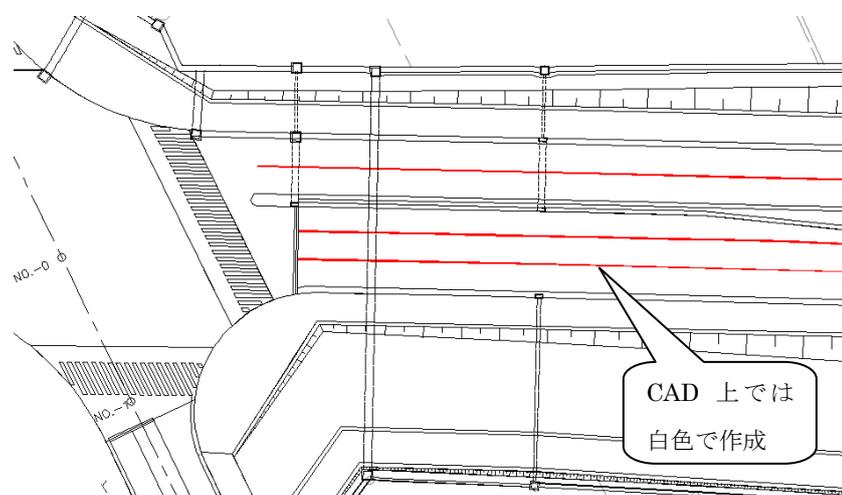
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
E230	植栽	○	○	○
C110	環境施設帯	○		

15) 区画線

1. 地物定義 車線(すりつけ部を含む)の境界を明示するための路面標示。
路面標示のうち、道路中央線、車線境界線、車道外側線によって構成される。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-LINE
3. 形状 線
4. 色 白
5. 作図方法 道路中央線、車線境界線、車道外側線のマーキングの中心を線データとして作成する。

《作図例》



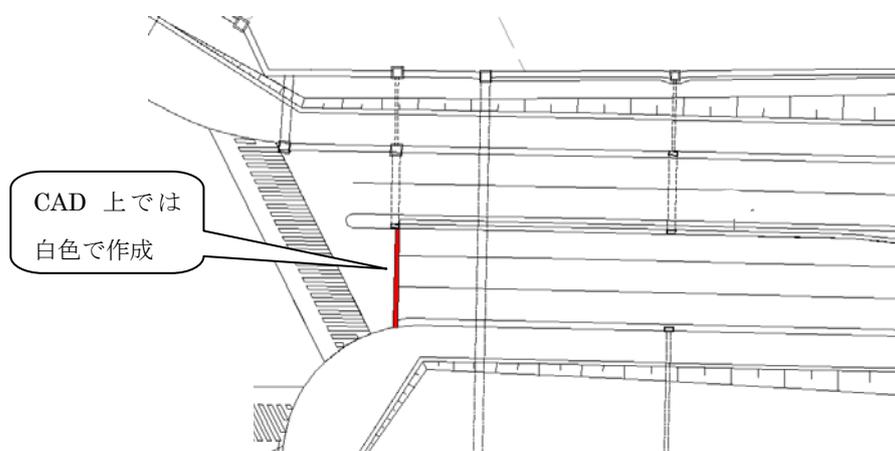
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C050	舗装	○		

16) 停止線

1. 地物定義 停止線を明示する路面標示。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-STOPLINE
3. 形状 線
4. 色 白
5. 作図方法 停止線(二段停止線を含む)のマーキングの中心を線データとして作成する。

《作図例》

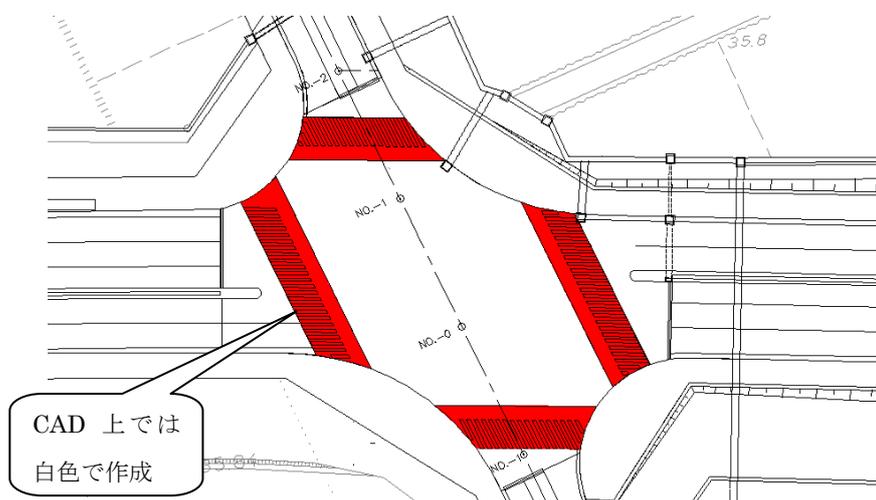


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	C050	舗装	○	

17) 横断歩道

1. 地物定義 車道部のうち、主に交差点付近で歩行者が横断するために路面標示で区分された部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CROSSWALK
3. 形状 面
4. 色 白
5. 作図方法 横断歩道を表す路面標示の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。
自転車横断帯が隣接している場合は、それも含めた範囲として作成する。
斜め横断可(スクランブル横断歩道)の場合も同様に作成するが、時間を限定して行われる交差点で交差点中央部に路面標示が無い場合は、路面標示がある範囲のみを面データとして作成する。

《作図例》



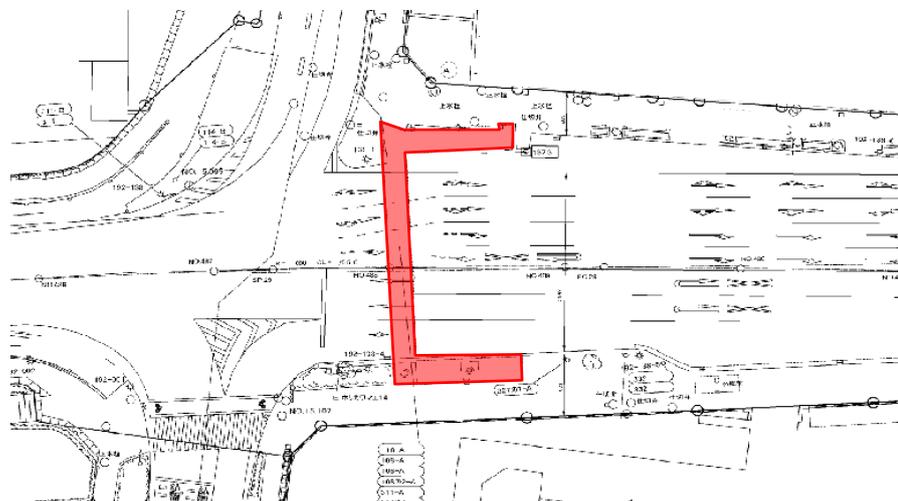
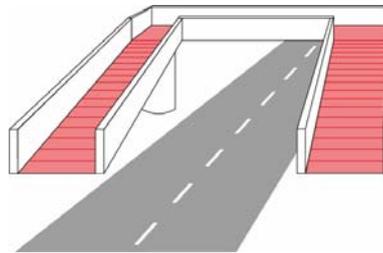
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
C050	舗装	○		

18) 横断歩道橋

1. 地物定義 車道を横断する歩行者を車道から分離するための橋梁状の施設。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PEDESTRIANBRIDGE
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 歩行者の通行に供される部分(階段、斜路、エレベータ、エスカレータ、踊り場を含む)を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。ループ式の階段等が設置されている場合は、その部分を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を含める。

《作図例》

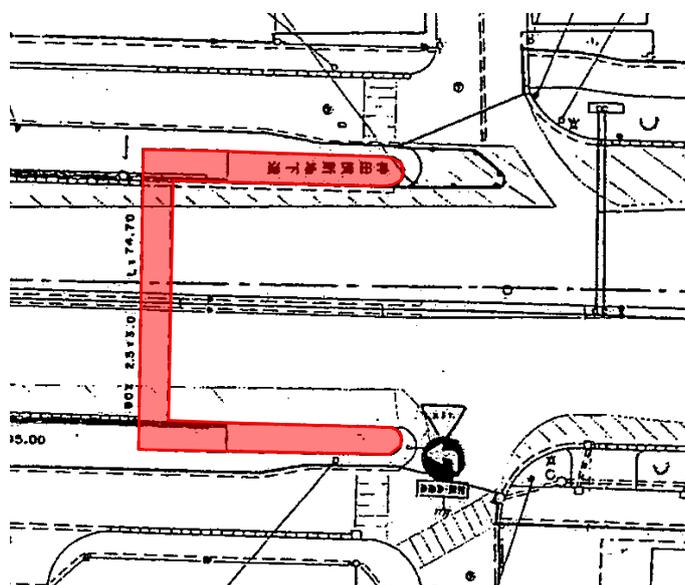


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】	
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31	
7. 道路施設 基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
	D030	横断歩道橋	○	○

19) 地下横断歩道

1. 地物定義 車道を横断する歩行者を車道から分離するための道路横断施設。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-UNDERPASSWALK
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 歩行者の通行に供される部分(階段、斜路、踊り場を含む)を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



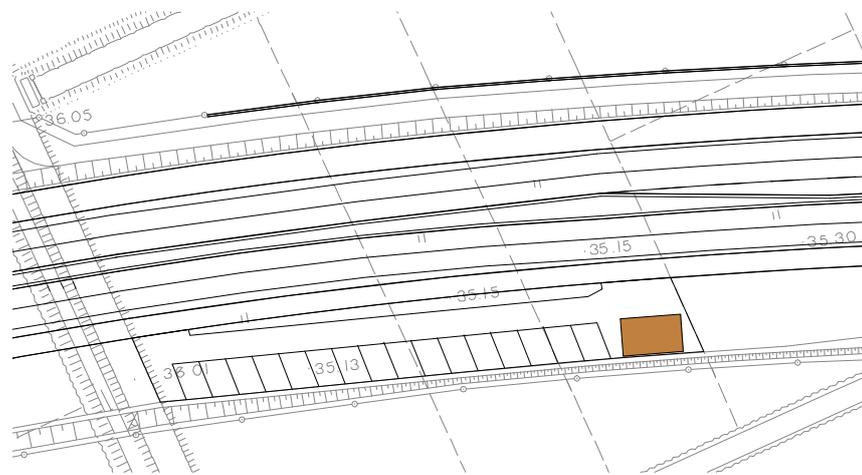
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D070	地下横断歩道	○	○	○

20) 建築物

1. 地物定義 道路管理者が設け管理している建築物及び地下鉄等の入口のための出入口、庁舎・観測施設・通信施設などの建築物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BUILDING
3. 形状 面
4. 色 茶
5. 作図方法 建築物の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



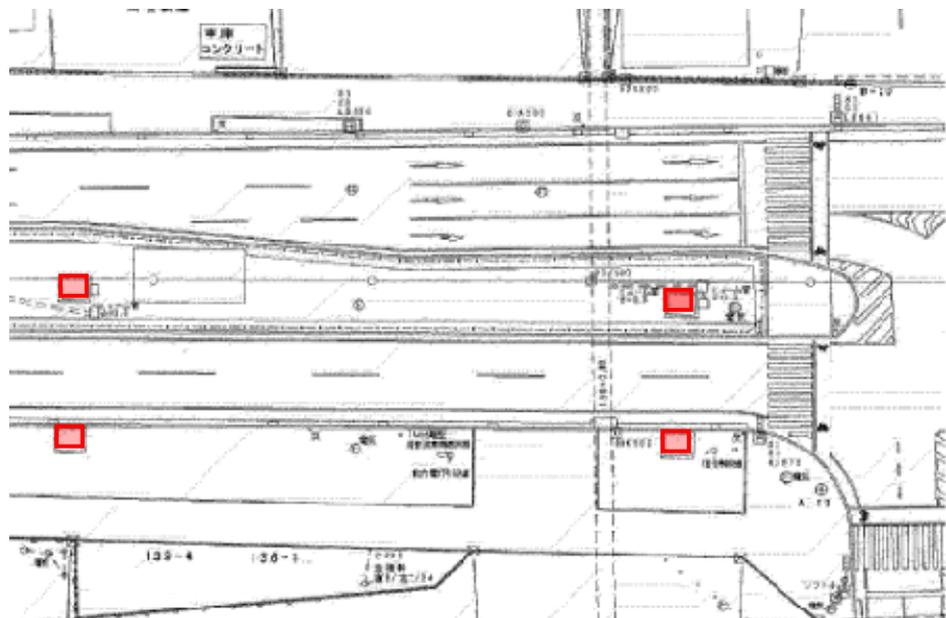
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
E190	除雪ステーション	○		○

21) 橋脚

1. 地物定義 道路上の空間を占有している当該道路以外の構造物を支える橋脚。
道路が立体構造となっている場合に当該道路に接続するランプの橋脚がある場合には、それも含むが橋台は含まない。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-PIER
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 橋脚の接地部分の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》

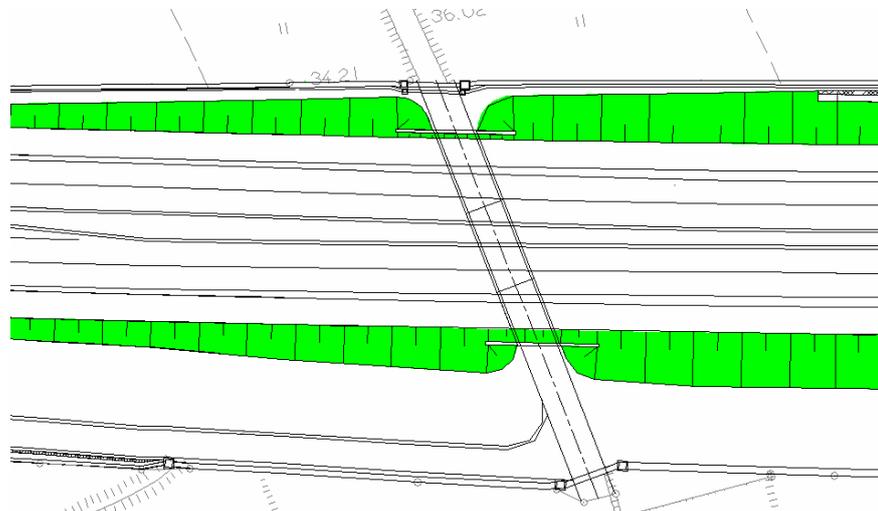
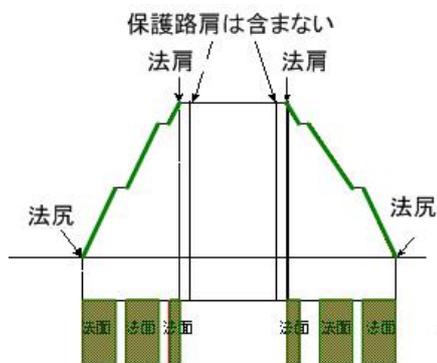


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

22) 盛土法面

1. 地物定義 盛土でできた人工的な斜面のうち、保護路肩や小段を除いた部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BANK
3. 形状 面
4. 色 緑
5. 作図方法 法肩線及び法尻線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



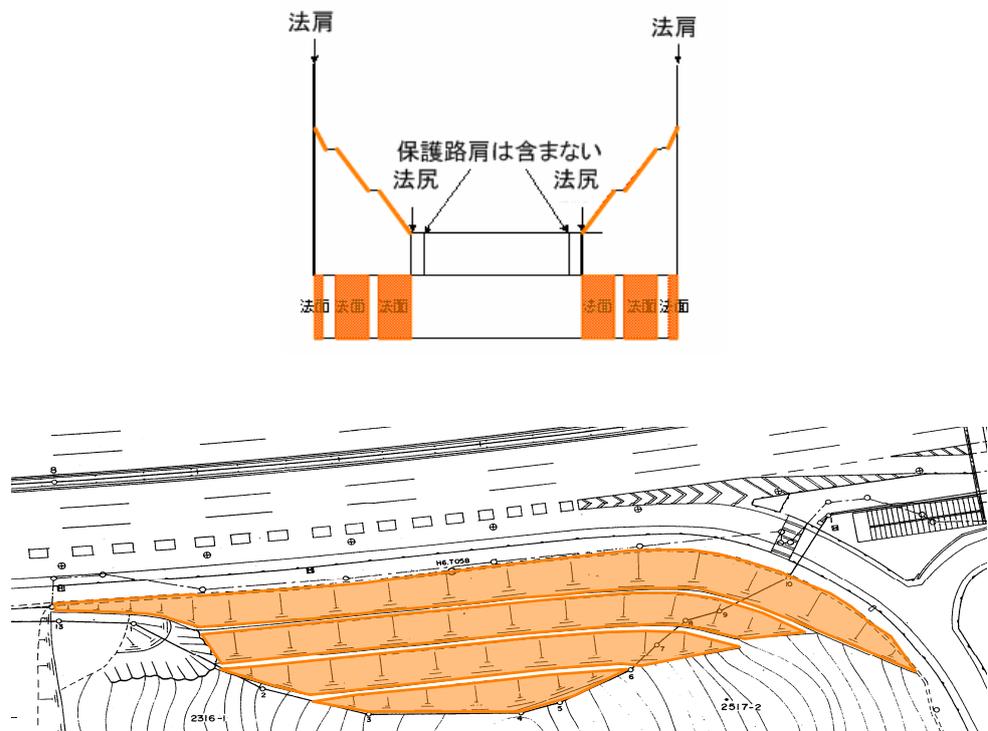
6. 属性項目

【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

23) 切土法面

1. 地物定義 切取りでできた人工的な斜面のうち、保護路肩や小段を除いた部分。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-CUT
3. 形状 面
4. 色 橙
5. 作図方法 法肩線及び法尻線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



6. 属性項目

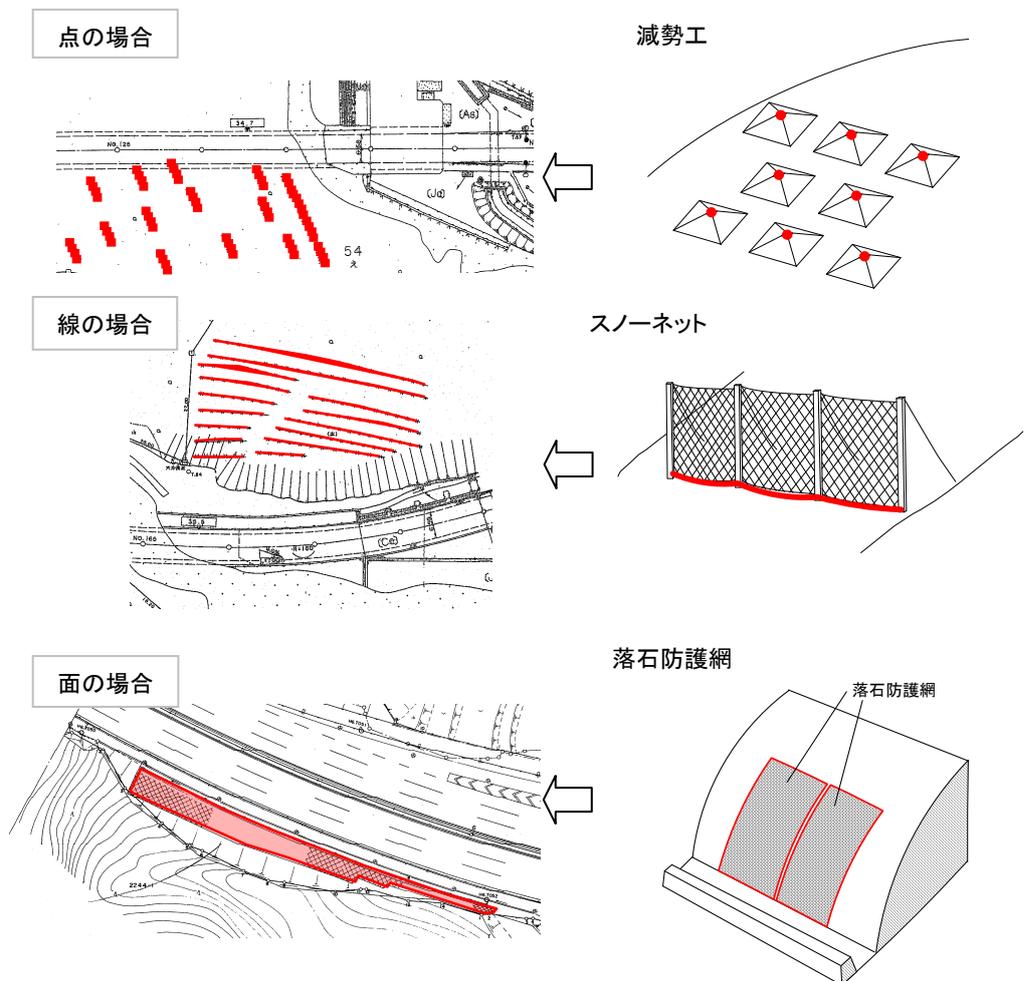
【属性】	【定義】	【記述例】
設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

24) 斜面对策工

1. 地物定義 自然斜面や法面の崩壊を防ぐために設置される施設
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SLOPE
3. 形状 点(マーカコードは 5:square)
線
面
4. 色 赤
5. 作図方法 予防杭、吊柱、減勢工、ロックボルト工、ロックアンカー工は中心位置を点データとして作成する。スノーネットは中心線を線データとして作成する。誘導工、根固め工、落石防護網は構造物の外周を面データとして作成する。

《作図例》

《主な工種》



6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

25) 擁壁

1. 地物定義 土砂の崩壊を防ぐための壁体構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-WALL
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 擁壁を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



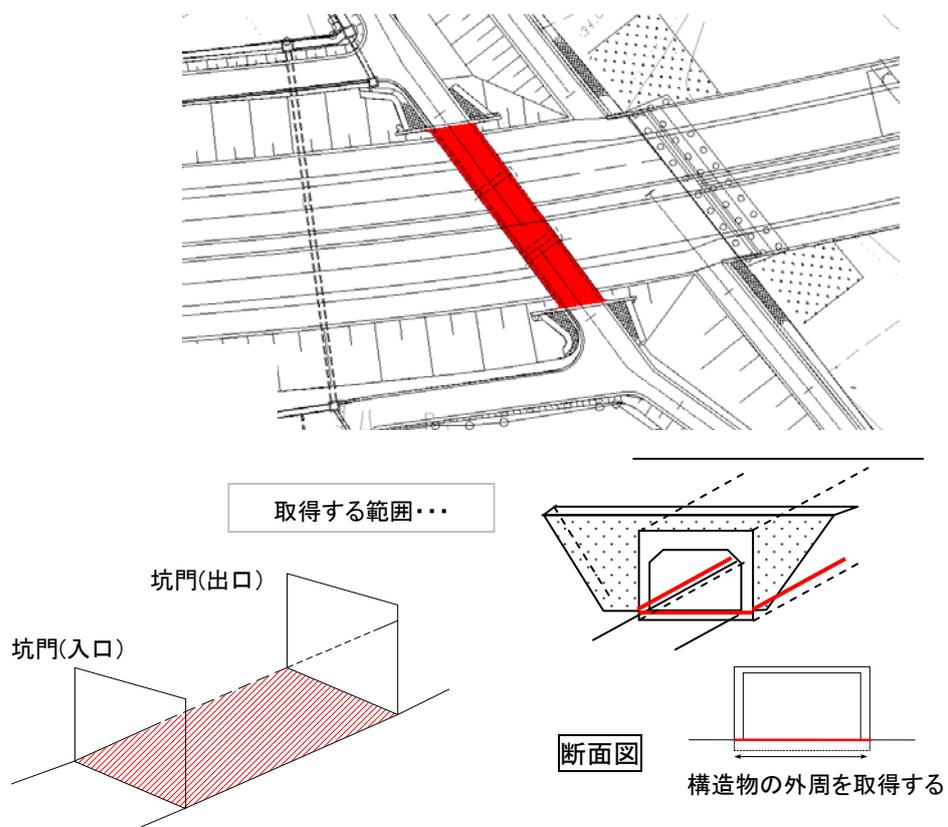
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
	設置日	工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D120	擁壁	○	○	○

26) ボックスカルバート

1. 地物定義 他の道路等の下方を横断する際、その盛土の中を横断する形で設置される箱状の構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BOX
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 カルバートを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



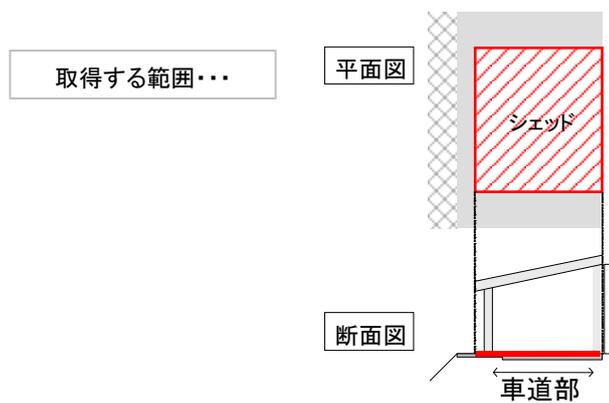
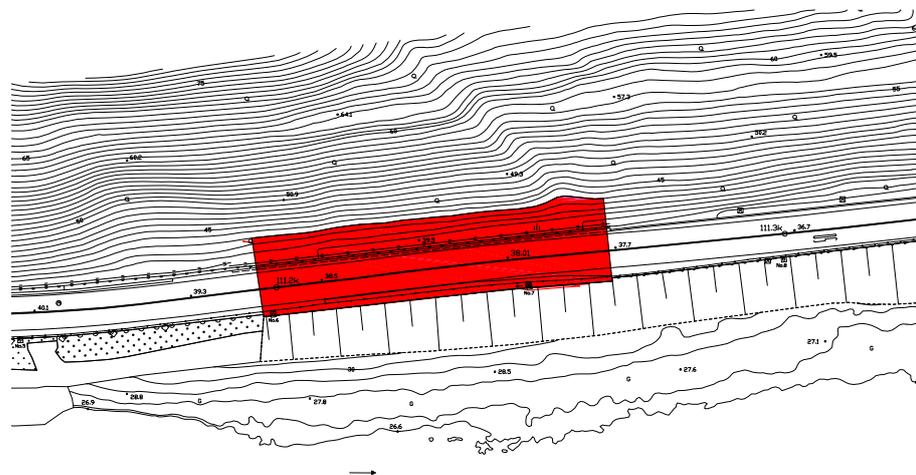
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D090	横断 BOX	○	○	○

27) シェッド

1. 地物定義 落石および雪崩を路面に直接落下させず、道路を越えて転進させるために、鋼材やコンクリート材などで道路を覆う構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SHED
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 シェッドを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



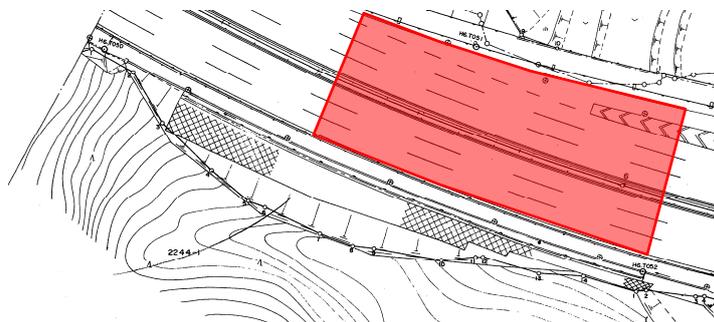
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D050	洞門	○	○	○
D060	スノーシェッド	○	○	○

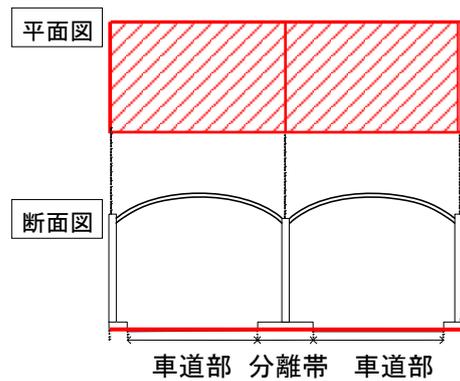
28) シェルター

1. 地物定義 アーチ型または門型の道路を完全に覆ったトンネルのような構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-SHELTER
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 シェルターを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》



取得する範囲...

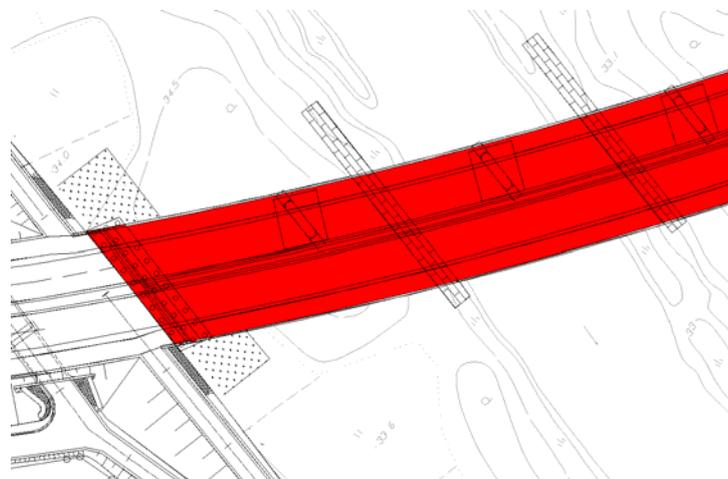


6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

29) 橋梁

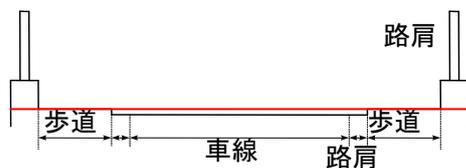
1. 地物定義 道路において、交通の障害となる河川、溪谷、湖沼、海峡、鉄道、水路、他の道路などの上方にこれを横断するために建設される構造物の総称。市街地において効率的な土地利用の観点から、道路上あるいは河川上の空間に連続して建設される高架橋も橋梁の一形態である。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-BRIDGE
3. 形状 面
4. 色 赤
5. 作図方法 橋梁の上部工を平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

《作図例》

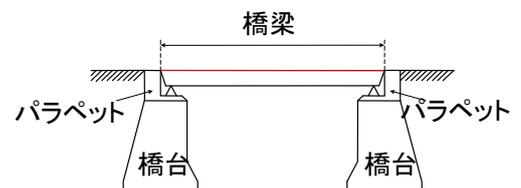


取得する範囲…

断面図



側面図



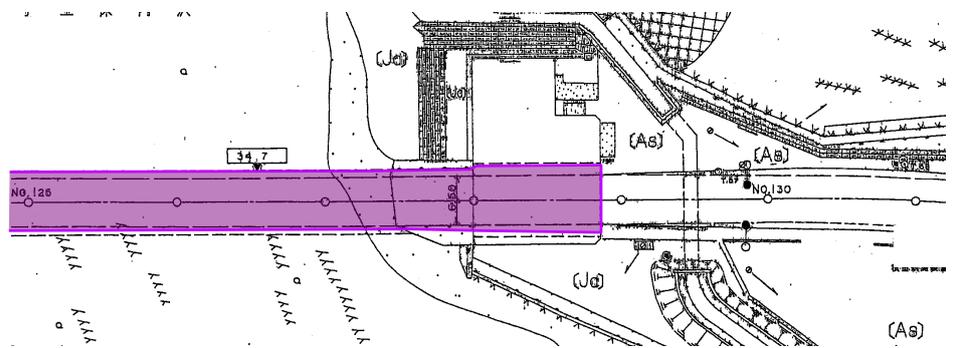
6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦), 月, 日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D010	橋梁	○	○	○
D020	橋側歩道橋	○	○	○

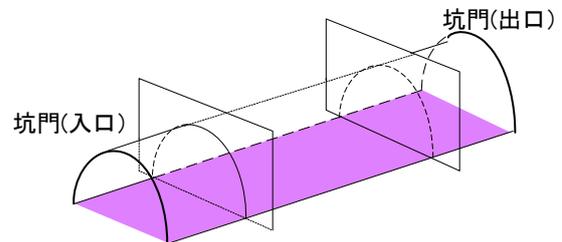
30) トンネル

1. 地物定義 上部を含め周辺が地山や他の構造物で覆われており、交通、輸送等の用に供する構造物。
2. レイヤ名 C-STR-STRZ-TUNNEL
3. 形状 面
4. 色 紫
5. 作図方法 坑口から坑口までのトンネルを平面投影した形状の外形線によって囲まれる範囲を面データとして作成する。

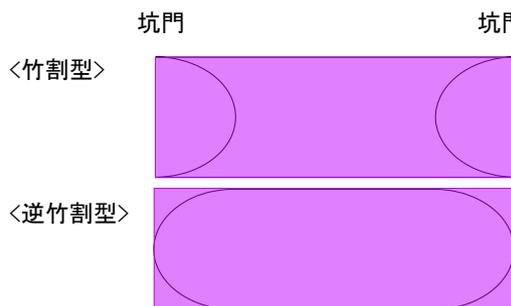
《作図例》



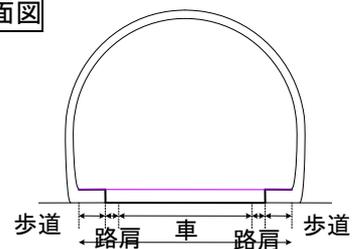
取得する範囲



上面図



断面図



内空が地表面と接している幅を取得する

6. 属性項目	【属性】	【定義】	【記述例】
設置日		工事完了日(日本時間の年(西暦)、月、日の半角スペース区切り)。設置日が不明な場合は「不明」と入力する。	2005 3 31

7. 道路施設基本データ	【項目名】	詳細情報	一般図	現況写真
D040	トンネル	○	○	○